



モスフードサービス

<https://www.mos.co.jp/company/>

## 広島市内店舗で分身ロボット『OriHime』が接客

特例子会社社員によりリモート接客——人手不足対応の実証実験

モスバーガーを展開するモスフードサービス(東京都品川区)では、「モスバーガー広島十日市店」(広島県広島市中区)にて、オリィ研究所(東京都中央区)との協力体制のもと、分身ロボット『OriHime(オリヒメ)』を実験導入した。『OriHime』は東京都の「モスバーガー原宿表参道店」ですでに導入されており、これまでに福岡県や北海道でも実験導入を実施し、好評を得ているとのこと。

「当社は、時代にあったモスバーガーらしいホスピタリティの形を追求し、人手不足を補うためにテクノロジーを活用した研究を続けています『OriHime』は、全長約23cmの分身ロボットで、子育てや介護、身体障がいなどの社会的ハンディキャップにより外出困難な人の分身として、店舗勤務を可能にします。外出困難な人が『OriHime』によって店舗で勤務することで、人ならではのあたたかみのあるコミュニ

ケーションを可能にします——(モスフードサービス談)」

今回の実験では、月～水曜日は同社の特例子会社である『モスシャイン(東京都品川区)』で働くチャレンジメイトが、木・金曜日はオリィ研究所のハンディキャップを持つメンバーが、『OriHimeパイロット』としてリモートで接客を実施した。『モスバーガー広島十

日市店』は、世界遺産でもある原爆ドームから1キロ程の、オフィスと住宅、マンションが多く建つ街にあります。常連の方や近隣にお勤めの方がよく利用されており、リモート接客を通じて、ロボットの接客でありながら心のこもったおもてなしを行っていきます——(同社)」



●モスフードサービスの100%出資子会社であるモスシャインは、2018年4月「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づく「特例子会社」の認定を取得。モスシャインという社名は、モスのチャレンジメイトの一人ひとりが輝き「shine(シャイン)」、「社員」として一体感を持って働くことを目指して名づけられたという。

## シニアが元気になると 日本が元気になる！

### 元気シニア倶楽部 会員募集中!!

——入会費・年会費なし——

一般社団法人

## 日本S元気シニア総研

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿4-4-5 第3伊藤ビル4階  
tel.050-5533-3100 fax.03-5791-5859 Email. info@genkisenior.com



## 見守りツール『びーこんうおっち』 BabyTech® Awards 2023 の優秀賞受賞

『保育博 2023』では商品展示も — ワイーシーソリューションズ —

ワイイーシーソリューションズ(横浜市)では、同社が開発販売する『りりーふなっぴー びーこんうおっち』が、国内で流通するベビーテック商品やサービス・育児家電を表彰する『BabyTech® Awards 2023』の保育ICT部門において優秀賞を受賞したことを発表した。

今回の受賞に伴い、2023年11月21日に開催される『保育博2023』(東京都立産業貿易センター 浜松町館)に出展し、受賞製品を展示することも併せて公表した。

『びーこんうおっち』は、ビーコンを活用して、園児の見守りができるサービスとして登場。「園児が持つビーコンの電波を、先生が持つスマートフォンが受信し、園児が近くにいることを検知します。ビーコンの電波が受信できなくなると、園児がいないと判断し、先生のスマートフォンに通知を送ります——(同社談)」

また、本製品を活用して「バスの乗車・降車が完

了したことを保護者様にお知らせすることも出来ます——(同社)」とし、「通園バスの置き取り防止対策」にも応用できるとしている。



<https://www.yec.ne.jp/product/beaconwatch/>

## マルエツの「移動スーパー」運行開始

高齢化に伴う免許の返納や健康上の理由で直接来店が難しいユーザーを支援 — マルエツ —

<https://www.maruetsu.co.jp>



◎移動スーパーで販売されていない商品でも、ユーザーの要望商品が『マルエツ四季の森フォレオ店』で取り扱いがあれば、次回運行時に販売されるとのこと。

「当社は、地域におけるライフラインとしての役割を担うため、店舗にご来店いただくお客さまはもちろん、さまざまな理由でご来店いただけないお客さまを含めた、すべてのお客さまの「お困りごと」解消につながるサービスの提供に努めております——(同社談)」

『マルエツ 四季の森フォレオ店』は、2005年にオープン。店舗周辺は坂道が多いことに加え、高齢化に伴う免

許の返納や健康上の理由などで、「直接ご来店いただくことが難しいお客さまが増えてきております——(同社)」とし、今回の「移動スーパー」初運行につながったという。

移動販売では当日の店頭価格と同じだが、販売手数料として1品あたり「11円(上限55円税込)」が加算される。決済方法は「現金、クレジットカード」のほか、電子マネー(各種)、スマホ決済(各種)などにも対応。

アイデアの**商品化**を推進する 発明事業化促進  
身近な**発明展**  
ヒント

特許料  
3億円!

アイデア  
募集中

特許料  
6千万円!

発明家たちの  
登竜門

企業の  
新製品  
開発に



小さな創造を社会に活かす  
一般社団法人 発明学会

<https://www.hatsumei.or.jp/>

## 情熱の発明商品・発掘プロジェクト 生活にやさしい『なるほどアイテム』を探せ

当コーナーでは、発明学会（東京都新宿区）のご協力をいただき「情熱の発明品」をご紹介します。子どもや高齢者、そして生活全般にやさしい「なるほどアイテム」をピックアップします！掲載された商品に興味のある方は下記までご一報ください。

### 第76回 傘に瞬時に装着できる傘袋

## 『まるまーる』

折りたたみ傘によくある悩み事が、「傘袋」に関する不満です。道に傘袋が落ちているのを見ることがある方は多いと思いますが、いつの間にか傘袋を紛失してしまうのは、誰にでも経験があるはず。そのた

め、紛失しないように、傘の柄に結んでおく場合もありますが、固く結ばれた結びこぶを解くのが大変です。傘袋をカバンの中に入れて保管する場合も、カバンの中から傘袋を探すのが面倒。発明家の保坂幸子さんも、この「傘袋」に不満を感じており、この「傘袋の保管」に着目して発明をしたのが、傘に瞬時に装着できる傘袋『まるまーる』です。構造上の特徴は、傘袋の長手方向に、手首や足首などに巻き付けて使用する反射板に使われている、「巻き付き板バネ」を設けた点です。

使い方はとてもカンタン。傘から傘袋を抜き取ったら、傘の柄に振り下ろすだけ。ピンと伸びた傘袋が柄に当たった瞬間、パチッと柄に巻き付き、ワンタッチで保持される仕組みです。また、傘の柄だけでなく、カバンのベルト部や取っ手などに巻き付ける事も可能。結びつける必要がなく、瞬間固定ができる点がこの商品の特徴です。傘袋内

部には、マイクロファイバー製の吸水体を設け、雨粒を吸い取るための工夫もされています。保坂さんは、この『まるまーる』を自分で製造販売するために、販売価格やカラーライナナップの検討、パッケージデザインの作成など、発明学会ネットショップでの販売を



は始めるため、現在熱意準備中です。今は、副業が解禁されたり、ネットショップでハンドメイド商品を販売する人が増えてきたりと、誰でも「ものづくり」に挑戦しやすくなりました。『まるまーる』が売れて、買ってくれたお客さんを笑顔にする日が楽しみです。（保坂泰明）

無料プレゼント！ 発明ガイドブック

「発明ライフ入門」(希望者は下記まで)

〈この商品のお問い合わせは〉

一般社団法人 発明学会 発明アドバイザー 松野MP係 まで  
東京都新宿区余丁町7番1号 発明学会ビル  
☎ 03(5366)8811 y-matsuno@hatsumei.or.jp

発明学会公式サイト <https://www.hatsumei.or.jp/>



# こちら『元気シニアビジネスアドバイザー!!!』

ブレン・モンジュ・林野 均の「シニア`萬、遊記」第74回

## 日本人は敬う心を失ったのか

またまた新聞ネタですが、障害者向けグループホームなどを全国展開する運営会社が障害者から食材費を過大徴収しており、全国で組織的に続けていたと見て厚生労働省が特別監査を進めているそうです。

これは「経済的虐待（事業者の不当利得）」といわれており、障害者施設だけではなく、高齢者施設でも例はあるようです。しかも虐待を行っているのは介護従事者だけではなく、家族が行っている場合も多いそうです。家族の場合は通帳などを管理していながら、高齢者のためではなく自分のために金銭を使用し、場合によっては施設への支払が滞り、居住ができなくなってしまうようなケースもあるようです。

昭和23年から平成14年まで9月15日は「敬老の日」として国民の祝日とされてきましたが、平成15年から「敬老の日」は9月の第3日曜日とされ、9月15日は「老人の日」となり祝日ではなくなりました。同じような趣旨の「日」が二つに別れ一方は「敬」の字がなくなったため、日本人から「敬」の心が失われたのかもしれませんが——まあ、これはこじつけですが、実感として高齢者を敬う風潮は薄くなったように思われ

ます。

なにしろ高齢者の数が毎年増えていて、いちいち敬ってはいられないというのが本音かもしれません。とはいえ、何らかの対策を講じなければなりません。疑わなければならないというのは残念なことですが、本人がしっかりしている場合は本人が——本人が認知症等になった場合は家族や近隣の住民、そして行政が本人に替わって見守るというシステムを早急に構築しなければなりません。



Author／林野 均 (はやしの ひとし)

プランニング・ブレン・モンジュ代表／一般社団法人 日本元気シニア総研究委員

『元気シニアビジネスアドバイザー』資格を取得後、元気シニア総研究委員として、シニア向け商品やサービスの取材を「自らのシニア目線」で精力的に行なっている。

<https://planningbrain.com>



## デイサービス生活相談員ネットワークの 『生活相談員』講座

ちっちゃいマメをおっきく育て、  
夢のある未来を創造します。

株式会社スリービーンズ

<http://3beans.jp>

*Let's enjoy your senior life*

元気なシニアライフを  
応援します！

<https://planningbrain.com>

シニアのためのコンシェルジュ

プランニング・ブレン・モンジュ  
tel.090-3682-3310